

総務委員会レポート

め まぐる

はってん

なか

目紛しい発展の中でも、

ちょうみん

こえ

き

ちょうせい

町民の声が聞かれる町政を



まちづくり懇談会の様子

まちづくり懇談会について
Q 住民の参加が少ない。渋滞対策などのテーマを絞って開催したらどうか。職員の時間外勤務手当など費用がかかっている。開催する意味は。
A 町としても試行錯誤している。今年度も興味を持ってもらえるような内容にしていきたい。職員は地区担当職員の立場で参加し、時間外勤務手当を支給している。人材育成も兼ねているため有効な時間だと認識している。効果的な内容にしていくように努める。

地域の活動でポイントがもらえる「水ポイント」の取組み拡大について
Q 水ポイント周知が足りないのでは。町ならではの取り組みも必要ではないか。
A 団体での登録も少しずつ増えているところ。熊本市のポイントアプリなどの状況を踏まえて検討していく。



ごみ拾いの様子

10代、20代の若者が狙われています。
 それは「バイト」ではなく、「犯罪」です!!

闇バイトを防ぐには
Q 高校生の闇バイトが増えている。未然に防ぐ対策は。
A ソフトバンクと包括連携協定を締結しており、集合型のスマホ教室開催もできるため、警察や学校と情報共有しながら進めていければと考えている。



南部地区での深刻な騒音問題
Q 陣内地区や岩坂地区などの南部地区で航空機騒音の問合せが出ている。現状の騒音測定状況及び住民への説明状況は。南部地区だけではなく町の問題として、基準があるならば正しい情報を住民へ周知することが必要ではないか。
A 熊本空港周辺環境整備協議会大津部会の会議の中で、県や空港から測定値は基準以下だと説明を受けており、区長とも意見交換をしている。地域ではうるさくて屋外で会話ができない、地響きがするという意見もあり、測定方法に疑問の声があるのも承知している。大津部会での意見を県にも伝え、飛行ルートについても協議をしている。今後解決に向けて協議をしていく。

カーブミラーで事故を防ぐ
Q カーブミラーの設置について、一時停止標識が隣にあれば設置することができないなど、要件が厳しいのではないか。
A カーブミラーの設置については、区からの要望を受け、その後大津地区交通安全協会大津支部の評議員が調査を行い、設置の可否を判断している。その際、交通ルールを守れば設置が不要と判断される場合もあるが、停止線がある箇所でも、合流先の車の速度が速い場所など危険がある場合には設置することもある。また、設置先が個人の土地や通行の支障になるような箇所は除外することもある。



増加するホテル入湯税の今後の見込みは
Q 入湯税は大津町ではどのような使い方をしているのか。また、新しいホテルが建設されているが温泉施設はあるのか。
A 本町では商業観光課の観光費に充てている。また、今後の収収は、鉱泉浴場の建設もふまえて増収見込みである。
プチ知識
 ※入湯税とは 温泉に入った客に代わって、施設の経営者が市町村に納めるもの。貴重な財源となる。



経済建設 委員会 レポート

そ し き り ょ く き ょ う か 組織力強化と

Q 追い払う

とにかく人慣れをさせない、「人は怖い」「人は敵だ」と思わせることが重要です。慣れよく地域の連携プレーで追い払いましょう。大きな音などで自分のできる工夫をしましょう。



熊本県農林水産部農産振興局 村づくり課より

Q 最近猿の出没が多い。対策はどうなっているのか。
A 猿への対策はスターターなどでの音による追い払いが主となっている。追い払いだけでは限界があるため、有害鳥獣駆除を行う実施隊と対策の調査研究をしている。

鳥獣被害対策

まち かん こう しん こう はか 町の観光振興を図る



町道の除草作業

Q 事故報告があった草刈り時の飛び石対策はどうするか。
A 飛び石対策のボードを準備し対応する。それまでは、石などが飛びにくい刈払い機の刃で行う。
意見 草刈り講習の受講や事故リスクの認識をもって作業することを徹底してもらいたい。

除草作業での事故防止対策

Q 都市計画審議会が3月に行われたが、今後の予定と実務的な計画の検討は行われているのか。
A 都市計画審議会では、大津町の現状や課題、将来的な都市像についての審議を行った。令和7年度は、住民アンケートやワークショップ、地域懇談会、パブリックコメントなどを実施しながら、都市計画審議会を開催し、都市計画マスタープランの改定を行う。

町都市マスタープランの進捗



平成31年3月大津町マスタープランを引用

Q 観光協会の組織力強化と観光ビジョンの構築についてどう考えているのか。
A 地域プロジェクトマネージャーを採用することにより組織力強化を図るところ。観光協会へは町の観光振興の活動を実施する部分などを委託してさまざまな取り組みを商業観光課と連携し実施している。観光ビジョンについては、町の課題と優位性を整理して取り組む。

地域プロジェクトマネージャーと観光ビジョン



地域プロジェクトマネージャーの概要



通勤バス

Q 通勤バスには高校生などの学生も乗れるということだが、翔陽高校への周知は行っているのか。
A 通勤バスのダイヤやルートは運航開始前に翔陽高校に説明を行っており、既に乗車している。引き続きPRを行う。
意見 利用しやすいダイヤや便数があれば学生の利用にもつながる。学校にもPRしてほしい。

通勤バスの学生の利用



下水道の点検状況

Q 埼玉県での下水道の事故を受けて大津町でも下水道管の点検を行ったのか。
A 熊本県から管径2m以上の管について緊急点検の指示があった。大津町内では、最大90cmなので対象の管はなかったが、主要幹線を町独自でパトロールをしたところ不自然な陥没などは確認されなかった。また、定期的にカメラを使った腐食の調査も実施しており、不具合を発見した場合は管更生を行っている。

下水道管の点検



文教厚生 委員会 レポート

まちきふき町への寄附の決まり



大津町武道館

Q この寄附は議会の議決が必要で「負担付き寄附」にあたるのではないかと。町が負担する電気工事は反対給付にあたる。

A 負担付き寄附とみなされる要件である、反対給付がなされない場合の寄附解除の条件はなく、負担付き寄附には当たらないと考える。また、本来であれば町が空調を設置すべきところ、町民から空調機本体の寄附を受けたので町も協力し、一緒に設置するという考え方で行う。

意見 寄附者の意思が確認できない。「寄附も契約」の意識をもち、寄附採納のルールを検討すべき。

武道館への冷暖房寄附

たんとうかめいかくや担当課を明確にすべき



町所有スクールバス

Q スクールバスの利用基準について、通学距離だけでなく、高低差や通学時間などにより運用を拡大してほしいとの要望があると聞く。バスの乗車人数に余裕があるのなら、一度、ニーズ調査をしてみてはどうか。

A 基準のひとつである距離要件では、小学校でおおむね4km、中学校でおおむね6kmがある。どのようなニーズがあり、対応が可能かどうかを含めて考えていく。

スクールバス利用基準は

Q 修繕料について、以前、大津保育園との統合まであと数年なので、修繕は前倒して行うほうが良いのではないかと話をしたが、その後の状況は。

A 令和6年度は20万円の予算を組み、扇風機、給食用冷蔵庫等の修理を行った。今後も修繕が必要なものは前倒しで対応していく。

陣内幼稚園の修繕は前倒して



町立陣内幼稚園園舎

Q 小中学校体育館の貸し出しのためのリモートロックの使用料が、小学校費・中学校費で計上されている。学校施設の開放に關することなので、社会教育費で負担すべきではないか。

A 学校施設利用者の利便性を考慮し、リモートロックを導入した。現在、教育施設課が機器設置をしたことから管理を担当しているが、将来的には、生涯学習課で二括管理していきたい。

リモートロックの管理は



旧矢護川川体育館のリモートロック



厚生労働省HPより引用

Q 「予防接種委託」の増額の理由は何か。

A 新型コロナウイルスの予防接種委託について、令和6年度は新型コロナウイルス感染症対策費で予算計上していたが、令和7年度は予防費に移行したことで、約3千万円増額した。

また、带状疱疹ワクチン接種を新たに追加したことにより、約700万円増額している。

予防接種委託増額の理由は



大津町国保パンフレット

Q 国保税率などの引き上げを行ったことで、国保加入者の負担が大きくなっている。国保税率などの引き下げについて検討をしているのか。

A 国民健康保険特別会計の現在の財政状況として、令和7年度の当初予算は7千万円の赤字となっており、今後も赤字が続くことが見込まれている。特別会計は「独立採算制」であり、現在の財政状況では国保税率などを引き下げることが難しいと考えている。

国保税率などの引き下げを